

政務活動費活動報告（視察）

(1) 出席者（会派名・個人名）

会派：公政会

北村収、西川正義、谷口典隆、渡辺史郎、宮田茂雄、安沢勝、安居正倫

(2) 実施日：

平成 25 年 7 月 24 日

【 1. 調査の目的】

(1) 本市における現状

現在学校等の芝生化は、鳥居本小学校にしか取り入れておらず裸足の感覚を体感し、自然と一体化した感触を味わうことは、今後本市の教育環境の整備に関してもきわめて有効であると思われる。

(2) 本市における課題

昨今の自然に親しむ環境がなくなっている状況の中で、行程等を芝生化することにより大地を裸足で直に体感する環境作りを本市でも、鳥取方式を参考に随時推進してゆくべきだと考える。

【 2. 調査地選定理由】

(1) 調査項目 学校等公共施設における芝生化の推進研究

(2) 選定地 1：鳥取県（県庁にて全県的に実施）

選定地 2：

選定地 3：

【 3. 調査結果】

(1) 内容

オーストラリア出身の「ニールスミス」氏が、母国オーストラリアでは多くの広場が芝生化され、子どもも幼少期の頃から芝生の上を裸足で歩いている。このことにより、子どもの発達過程や各種スポーツの向上に多大の影響を与えていることから、スミス氏が非常に熱心に「芝生化」を提唱され、実施に向けての活動や、自らのボランティア等を通し活動されてきた。また氏は、「NPO法人リーンスポーツ鳥取（GST）」も立ち上げ現在鳥取方式（登録商標取得）と呼ばれる芝生から推進された。

1 芝生のいいところ

- ① 外遊びが好きになる
- ② 体力がアップする
- ③ ストレスが少なくなる
- ④ よく眠る

2 鳥取方式って何か

- ① 面積や利用人数に応じて最適な芝生のグラウンドを作り子ども達が毎日走り回れるようにする
- ② 雑草も一緒に刈り込むため雑草を抜く必要がない
- ③ 鳥取方式とは、こうした手法により低コストで芝生のグラウンドを広げる全く新しい取り組み。

(2) 考察

公共の広場や学校等の周辺を芝生化することにより、調査結果にうたっている効用が現実的に期待でき、鳥取県では大きな成果を収めている。

本市も、鳥居本中学校のみに限定せず、可能な限り多くの学校や公共施設を芝生化し、のびのびと遊べる環境作りが必要であると感じた。

今後、この例を参考に、本市における芝生化の促進について、さらに研究するとともに、鳥居本中学校の成果も参考にしながら事業の推進について検討してゆきたい。